

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
 パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
 天津大学建築学院

2015 年度国際建築・都市設計ワークショップ

「A Parisian Covered Passage - Pedestrian axis of Seine river left bank」



大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースは、2015年9月14日(月)から18日(金)までの5日間、フランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校(ENSA-PVS)を主会場として、ENSA-PVS、天津大学と合同で、「A Parisian Covered Passage - Pedestrian axis of Seine river left bank」をテーマに、パリ東部のセーヌ川左岸の再開発地区の中に、今日的なパサージュ(商業空間も含む歩行者空間)を提案する建築・都市設計ワークショップを開催しました。今回は ENSA-PVS の大学院生・学部生約 60 名と天津大学の学部生 2 名、および名古屋大学大学院建築学コース博士課程前期課程1年の蒲健太朗、小野竜也、源慧大、古田大介、王柔、袁聡の6名と同2年の銭亀夏彦がティーチングアシスタントとして参加しました。ワークショップの指導は、Boris Weliachew 教授、Marco Tabet 教授(以上 ENSA-PVS)、鄭穎副教授(天津大学)、小松尚准教授(名古屋大学)が行いました。今回 ENSA-PVS からは Tabet 教授のアトリエの院生と学部生が参加し、日仏中の混成4グループと ENSA-PVS の院生と学生からなる8グループがこの提案課題に取り組みました。

本ワークショップは、異なるバックグラウンドを持つ学生同士が英語で対話し協働し、提案する貴重な機会を提供するものです。この取り組みは、2009年4月以降、両大学の間で締結された学術交流協定に基づき実施されています。毎年4月に名大で、9月にパリでWSを行っており、ENSA-PVSでのWSは今回が6回目(名大でのWSを含めると11回目)になります。

街区の建物の中をショートカットして街路同士をつなぐ歩行者空間であるパリのパサージュは、19世紀に誕生しました。かつては100を超えるパサージュが存在しましたが、1970年代以降の都市開発により、現在では15にまでに減っています。しかし、車を気にせず楽しく歩いて、買い物や食事ができるこの歩行者空間は、市民の生活をささえ、観光客を惹きつける魅力的な場所になっており、これに今日的な解釈を加えて、ENSA-PVS が立地する再開発地区に提案することが求められました。

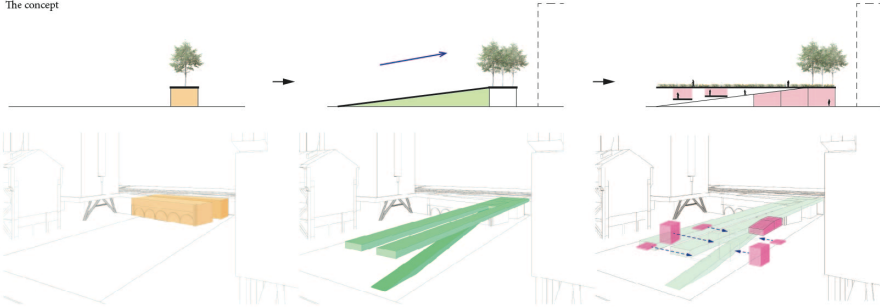
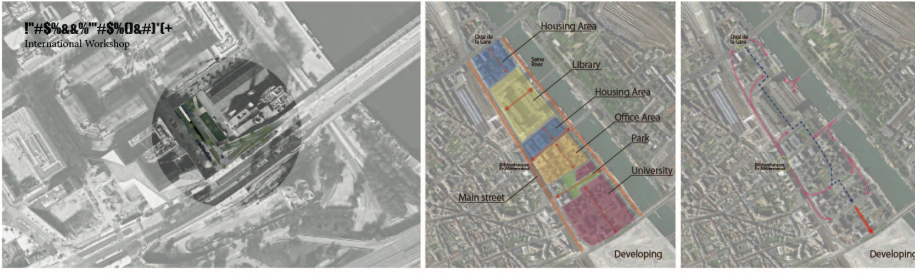
ワークショップは、まず1日目はパサージュや本課題に関する講義を受け、グループで既存のパサージュの見学と調査を行い、課題や提案のポイントを議論し、指定された5つのスペースの中でどこを選択するかを決定しました。2日目以降はグループ作業を行い、3日目には中間発表会、5日目の夕方には成果発表会とフェアウェル・パーティを開催しました。この間、大学内の図書館や建築材料の展示室の見学、セーヌ川左岸の再開発主体である SEMAPA 事務所の見学を行いました。

最終日の成果発表会では、各グループの調査・提案が図面(A0版数枚)と模型によって発表されました。本ワークショップの担当教員だけでなく ENSA-PVS の関係者が多数参加し、意見交換と講評が行われました。今回の評価ポイントとしては、①屋根があり街区を抜けるというパリのパサージュの特性をどう継承・発展させているか、②再開発地区の比較的大きな空間単位に対してどんな小さな空間単位でパサージュを構成し、またそれを敷地のコンテキストにどうフィットさせようとしているか、③構造の合理性はあるか、④自然光をどう取り入れているか、⑤この地区(知的創造業務系(含む大学)・商業系・居住系が混在)のパブリックスペースとして想定されるアクティビティにどう対応しようとしているか、といった点から講評とともに成績が付与されました。特に5日間という短い時間のため、提案の魅力や発展性に強さがあるものが評価され、最優秀の提案には日仏中の混成チームの一つ(名大は古田大介君がメンバー)が選ばれました。

なお、本ワークショップに参加する学生の派遣は、独立行政法人日本学生支援機構の平成27年度海外留学支援制度(協定派遣)採択プログラムとして実施し、教員の派遣等は環境学研究科研究科長裁量経費の支援を受けました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。

Group 2 LE PASSAGE PARIS IVRY



■概要

私たちのチームでは、大学やオフィスの集まる計画敷地南端を都市のオープンスペースと考えました。

この場所には途切れた高架があり、その上へとスロープで上がるようにすることで、さらに南の新開発エリアとの人々のつながりを構築しました。設計としては、テーマの"passage"の特徴でもあるまっすぐな道を意識しつつ、スロープの両脇や高架下などに動線に沿った店舗を配置することで、レベル差を利用した断面的な工夫もしています。また使われなくなった高架の上は緑地として整備され、開発される周辺環境の中に自然を残しながら、人々が集まり賑わう風景を生み出します。

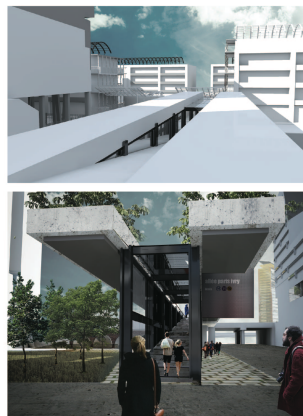
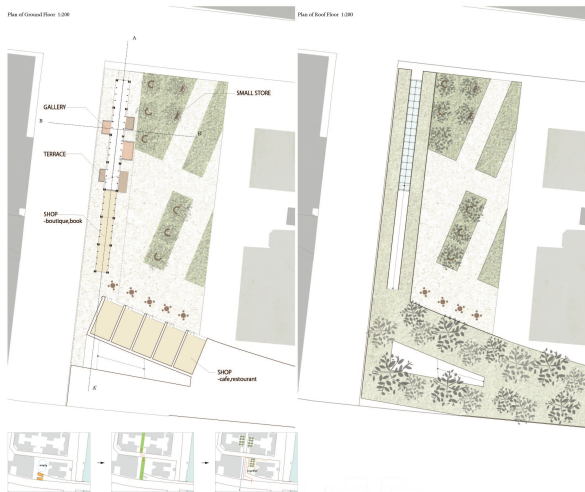
■メンバー

ENSA-PVS

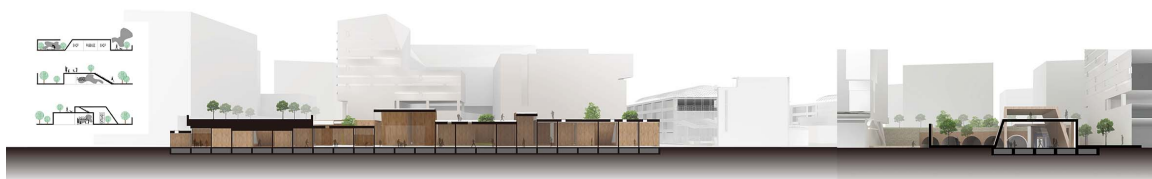
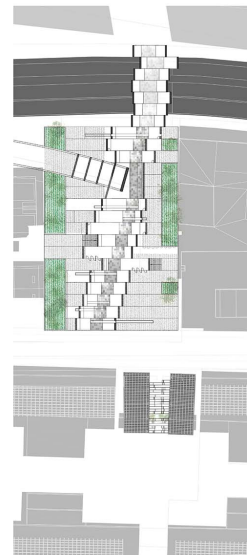
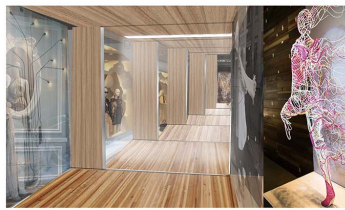
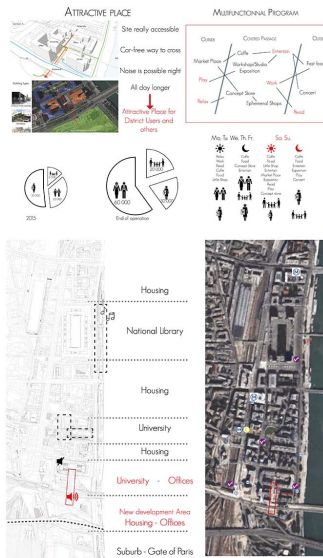
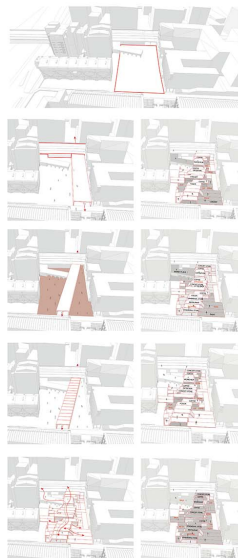
- Sebastien Actry
- Lola Esclafit
- Raphael Carreira

GSES-NU

- Tatsuya Ono
- Yuan Cong



Group 3 TIME RIBBON



■概要

敷地は、パリ市外との境界に近い、周囲を学校やオフィスに囲まれた空地にある。ハイウェイの下を通過して、市内の住宅街や大学があるエリアと市外の新たな開発エリアをつなぐ場所である。

ここに、木を外装材とした帯状の構造物が、折れ曲がり、連なることで、豊かな内部と外部の空間を生み出すパッセージを計画した。夜の人通りがめっきり減るこのエリアに、時間を問わず人々を惹き寄せるパッセージをデザインしようと考えた。

「TIME RIBBON」は、内の商業空間と外の公園的要素を帯の隙間によって緩やかに繋いでいる。隙間は、人々の出入り口となり、通風、採光を確保すると共に、内外の雰囲気伝える視覚的な役割も持っている。夜間には、隙間からこぼれた光が外を照らし、人々が集える明るい空間を生み出す。活気と安らぎの二面を持つこのパッセージが地域の憩いの場となる。

■メンバー

ENSA-PVS

- Edith Chevillot
- Claire Berhaut
- Madelaine de Bellaig
- Martin Peraudeau
- Arthur Loisel

GSES-NU

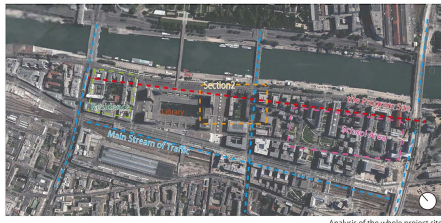
- Daisuke Furuta

TIANJIN Univ.

- Xiong Ran

Group 4 The Node (Connection) of Regions, Landuses, Mobilities and People

The Node(Connection) of Regions, Landuses, Mobilities and People



The Site Selection	Section2 ... the Mixed-Landuse Area
About the Users	Residents, Library Users, Workers, Students ... many kinds!
Spatial Characteristic	Closed Garden (OpenSpace), Slope, Huge Stairs, View to the Seine

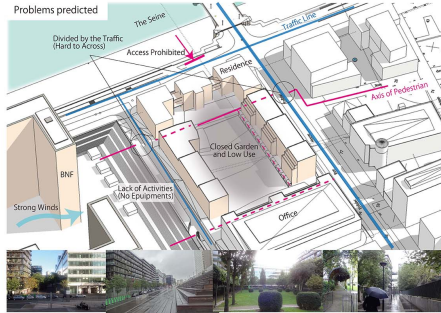
Problems in the Site	Good Points of the Site
Low Use of Open Space	Potential of Users
Paths are Separated by the Car Roads	"Closed" Garden which makes people relaxed or feel better than the roadside.
Limited Access to the Garden	

Main Concept
Connecting the Complexed Area to make People Use More and Walk through Easier

Methods

1. Strengthen the Axis for walkers (Make the Stream Line/ Flow)
2. Make Narrow Paths and Retentions (block plan)
3. Make View Points and many Activities (Landscape design)

Brain storming



Making another Passages to have more choices and activities (Method).

Passage usage these days

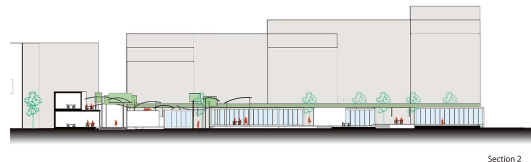
Our proposal

In France, people like spend their free time in a cafe along a street including Passage. But you can see there are many quiet and inactive Passages today. There is no buskic and it's not enjoyable. Some people use this place like a shortcut.

To make people stay and have fun in the Passage, we suggest to make another passage that we can make more choices of activities; semi-private coffee break, shopping, just resting...

Process to build the Passage up

1. Strengthen the connections to make people easier to come into the garden.
2. Making narrow paths to let users drop into and stay there.
3. Covering the paths with various material and Making comfortable place.



■概要

住居ビルに囲まれた、閉鎖的ではあるが落ち着いた雰囲気をもつ庭園を持っているのがこの地区の特徴である。ここでのアクティビティーを多様化させるために単調な一本道である既存の通路を、敷地全体へ枝分かかれ状(Branches)に張り巡らし、人々が立ち寄れる場の設計を考えたい。本来はショートカットとして利用されていた通路に選択肢を与えることで、広場に意識を向けると同時に周辺の様々な利用者(住民、図書館利用者、通勤通学者...)の動線をつないでいく。小道は半透明素材の小さな屋根の集合体で、小規模の商業空間と屋外・既存の建物をやわらかくつなぎ景観の統一性を図る。

■メンバー

ENSA-PVS

- Clara Dubuc
- William Dinse
- Caroline Crepel
- Lea Villain
- Manuella Ponce de Leon

GSES-NU

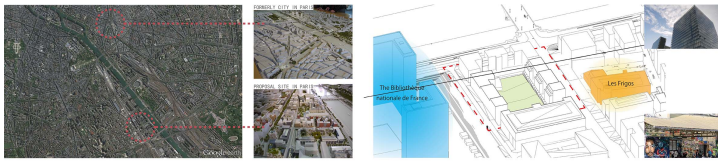
- Keidai Minamoto

TIANJIN Univ.

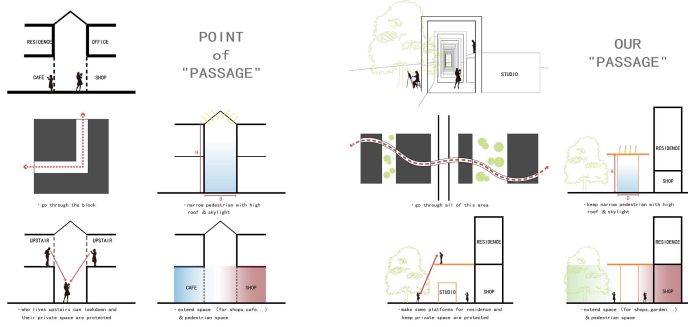
- Mi Lin

Group 5 ART to RECONNECT PAST and PRESENT

ABOUT THIS AREA



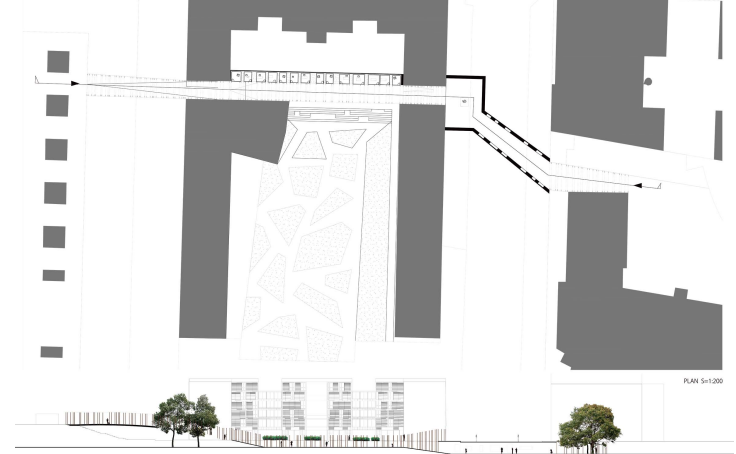
CONCEPT



ART to RECONNECT PAST and PRESENT



PLAN



■概要

更新され続ける再開発地区に相応しいパッセージをつくるというテーマに対し、伝統的なパッセージを新たに読み替え、さらにこの地区のアイデンティティを確立させるものを提案しようと考えました。全体を貫くコンセプトとして、フレームの連続によって作り出される、うねる床・屋根に挟まれる空間を新たなパッセージの空間とし、隣の建物や空間と関係づけた空間をつくっていくことを提案しています。再開発地区の「新規性」の象徴と言えるであろう国立図書館と、今も唯一残され続ける「伝統」の象徴と言えるであろう芸術家のためのLes Frigos。その二つをパッセージにアトリエや展示スペースを埋め込みながら繋ぐことで、更新され続ける都市と古くからの芸術が共存する地区、というアイデンティティをもたせています。

■メンバー

ENSA-PVS

- Marie Chevalier
- Gabrielle Ledron
- Leo Bourillet
- Emeline Thomas
- Emily Chakhtakhinsky-Lignac
- Romane Pauchet

GSES-NU

- Kentaro Kaba
- Rou Wang

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
天津大学建築学院
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結

報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>>

2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2014年9月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 26 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 4 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html>>

2015年5月：GSES-NU/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2015

(会場：名古屋、GSES-NU 大学院生 17 名、天津大学 8 名が参加)

報告記事< <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html> >

2015年9月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2015

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 2 名が参加)

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。



NAGOYA
UNIVERSITY

PARIS
VAL DE
SEINE
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE
D'ARCHITECTURE